

- 対象や事象を捉える造形的な視点についての理解。意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。
- 主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 美術の活動に楽しみながら取り組み創造活動の喜びを味わう、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	レタリング	5	・レタリングについての基礎知識を学ぶ。 ・明朝体・ゴシック体で平仮名・漢字を描くための技術を身に付ける。	◆明朝体・ゴシック体の違いを理解し、描き分けることができる。 ◆字体の違いと表現の工夫を理解し、味わうことができる。 ◆作品の特徴、よさや工夫、表現意図を理解し、味わうことができる。	◆技法を正しく使い、明朝体・ゴシック体を描くことができる。 ◆作品のよさや工夫を味わうことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆友人の作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。
5	色との出会い	4	・色の三要素や三原色などの基本的な知識を身に付ける。 ・絵の具を用いてグラデーションが描けるようになる。	◆色の三要素や三原色などの基本的な知識を身に付け活用しながら表現することができる。 ◆作品の特徴、よさや工夫、表現意図を理解し、味わうことができる。	◆様々な感覚から得たイメージを自分なりに色に置き換えて表現することができる。 ◆色に関する表現の意図を理解し、味わうことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作している。 ◆基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。
6 7	絵文字のデザイン	8	・文字をデザイン化し、感情や必要な情報を伝えるデザインの動きを学ぶ。 ・アイデアスケッチ、レタリングと絵の構成、下書き、彩色、鑑賞	◆文字の形や色彩に工夫し、明朝体やゴシック体を基本とした構想の中から情報を伝える文字を制作する。 ◆様々な色を作り出す工夫や、効果的な配色と彩色の技能を身に付ける。 ◆材料や用具の生かし方を考え、工夫して表している。 ◆情報を伝えるデザインの動きについて、理解している。	◆様々な色を作り出す工夫や、効果的な配色と彩色の技能を身に付ける。 ◆自分の作品をふりかえり、そのよさ、課題を見つけ出すことができる。 ◆友だちの作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆楽しく情報を伝える文字に主体性をもって取り組んでいる。 ◆色や形の世界に関心をもち、自分の発想を生かしながら、表現しようとしている。
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり
9	琳派に学ぶ～屏風絵～	2	・屏風の形式や作品を鑑賞し、理解を深める ・受け継がれてきた独自の美意識や創造性に関心をもち。	◆琳派の特徴や関連する作品について理解している。	◆表現の豊かさを味わい、作品から感じ取ったことや特徴などを発表したり、話し合ったりする。	◆美術作品からの美意識や創造性に関心をもち。
10 11	鉛筆デッサン	6	・用具の扱い方や物の形の捉え方を学び、実践を通して技術を身に付け、作品を計画的に制作する。 ・陰影の表現を学び、観察して描く	◆鉛筆の特性を生かし、効果を考えながら適切で丁寧な描写をすることができる。 ◆デッサンの基本知識を生かした表現ができたか。 ◆友だちの作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆光の明暗や空間の遠近などを考えて、表現意図に応じた表現方法を発想することができる。 ◆計画的に制作を進めるための工夫をすることができたか。 ◆自分の作品をふりかえり、そのよさ、課題を見つけ出すことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。
11 12	彫刻(木彫)	10	・基本的な木彫の彫り方を理解する。 ・基本的な木彫の彫り方を活用した図案ができる。	◆材料や用具の特性を生かし、効果を考えながら制作することができる。 ◆基本的な彫り方を習得し、生かすことが出来ている。 ◆友だちの作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆基本的な彫り方を生かした図を考え、見通しを立てて作品作り進めることができる。 ◆自分の作品をふりかえり、そのよさ、課題を見つけ出すことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり
1 2 3	塑造	10	・粘土を使った表現について理解し、形や色に工夫しながら制作する。 ・素材や用具などの特性を学び、制作を通して技術を身に付ける。	◆材料や用具の特性を生かし、効果を考えながら制作することができる。 ◆形や色、質感を捉え、構想を練る。 ◆友だちの作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。 ◆様々な彫刻作品について理解している。	◆表現意図に応じて立体デザインを工夫し、自分らしさが十分に出るような表現方法を発想することができる。 ◆計画的に制作を進めるための工夫をすることができる。 ◆自分の作品をふりかえり、そのよさ、課題を見つけ出すことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり

教科の目的

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造して表すことができるようにする。
- 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく態度を養う。

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
4	身近なものを描く	1	・身近なモチーフをよく観察して描く。 ・鑑賞しあう。	◆色彩や素材の基本的な知識を生かした表現ができる。 ◆作品から受けた印象と、その表現の工夫について書く、話することができる。 ◆静物画の作品の良さや特徴、技法について理解している。	◆バランスよく配置するなど構想を練って見通しを立てながら制作することができる。 ◆材料や用具の特性を生かしたり、効果を考えながら制作することができる。 ◆絵巻物の中で形や線がどのように工夫されているかを理解している。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。						
5	日本美術の鑑賞	1	・絵巻物や水墨画を中心に日本美術の特徴を理解する。	◆絵巻物の特徴や技法、良さについて理解している。	◆絵巻物の中で形や線がどのように工夫されているかを理解している。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆伝統的な表現の形式や現代との共通点などに関心をもつことができる。						
5	伝統文様を描く	2	・形を変化させながら文様の絵巻をつくる。	◆道具や素材を効果的に使って描くことができる。	◆文様から発想し、単純化したり複雑にしたりしながら描くことができる。	◆主体的に取り組む、意図的に制作することができる。						
6 7	水墨画を描く	7	・水墨画の伝統的な技法を使い、自分なりに工夫しながら描く。	◆伝統的な表現の技法を生かして表現することができる。 ◆水墨画の特徴や技法について理解している。	◆自分なりの発想を伝統的な表現方法を生かして表現しようとしている。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。						
			1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						
2 3	抽象絵画を描く	5	・アイディアスケッチ 下書き ・彩色 仕上げ	◆抽象絵画について理解し、色や形の特徴を理解しながら素材を工夫して表現する。 ◆美術作品の特徴や技法について理解することができる。	◆色彩や形について工夫して表現している。 ◆見通しを立てて表現を工夫することができる。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆作品や作者について興味を持ち意図的に学習することができる。 ◆砂で絵を描くことに興味を持ち、意図的に制作することができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。						
9 10	木彫和菓子トレー	10	・伝統模様の鑑賞 ・彫りの練習 ・アイディアスケッチ 下絵 ・彫り ・鑑賞	◆木に適した彫刻の基本的な技法を利用することができる。 ◆木材や彫刻刀の特性を生かし、自分の表現意図に合う表現方法を工夫するなどして創造的に表現する。 ◆彫刻作品やその特徴、技法について理解することができる。 ◆伝統文様の良さについて理解できる。	◆伝統模様やオリジナルの絵柄などを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成を考え、表現の構想を練ることができる。 ◆作品から受けた印象と、その表現の工夫について書いたり、話したりすることができる。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆主体的に取り組む、発想を工夫しながら見通しを立てて制作し、基礎的、基本的な技能を身につけていこうとすることができたか。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。						
			2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						
1	鑑賞 近代の美術	1	・印象派や抽象絵画、現代にいたるまでの美術の歴史を理解する。	◆作品を見て感じ取ったことを記したり、話し合ったりすることができる。 ◆作品の特徴や技法、について理解することができる。	◆見て感じ表現することの素晴らしさを味わうことができる。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆主体的に取り組む、その美しさを味わうことができたか。						
2 3	和菓子の模型をつくる	8	・アイディアスケッチ 下書き ・彩色 仕上げ	◆塑像に適した彫刻の基本的な技法を利用することができる。 ◆美術作品の特徴や技法について理解することができる。	◆色彩や形について工夫して表現している。 ◆見通しを立てて表現を工夫することができる。 ◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆作品や作者について興味を持ち意図的に学習することができる。 ◆和菓子に興味を持ち、意図的に制作することができる。 ◆自他の作品について、良さや課題を見つけ、学習に活かそうとしている。						
			3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を追求し、創造して表すことができるようにする。
- 主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく態度を養う

月	単元・題材名	時数	学習内容	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度						
4	対象をよくみつめて 偶然の美しさに挑戦	2	・身近なものをよく見て描く。	◆明暗や陰影を活用しながら、描くことができる。	◆光と影、形が関連しあう効果について考えながら表現することができる。	◆対象に興味を持ち、自分の作品制作に取り組むことができる。						
		3	・モダンテクニックを使用して描く。 ・様々なモダンテクニックを試し、表現の幅を広げる。	◆様々なモダンテクニックを試し、表現することができる。 ◆美術史上の作品について理解を深めることができる。	◆発想したことを基に簡潔にしたり、総合化したりして、表現することができる。 ◆自他の作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆様々な表現の効果について関心をもち取り組んでいる。 ◆自他の作品に興味をもち主体的に取り組むことができている。						
5 6	自画像	10	・今までの自分やこれからの自分を想像しながら自画像を描く。 ・クロッキー、スケッチ、下書き、彩色	◆作品に込められた思いや、表現方法の違いについて理解することができる。 ◆自己を見つめ、自分を表すのにふさわしい表現を形や線、色彩などを考える。	◆形や色、見せ方などを工夫し、効果的にあらわしている。 ◆互いの表現のよさや個性などを認め尊重し合う活動ができている。 ◆自他の作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆自分を見つめ、作品にあらわすことに関心をもち取り組むことができる。 ◆自他の作品に興味をもち主体的に取り組むことができている。						
7	日本の伝統文化	1	・日本の伝統的な造形を学ぶ。	◆作品の意図や特徴、表現について理解することができる。	◆美術作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆作品の意図や工夫、表現の違いについて興味をもって取り組んでいる。						
1学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						
9 10 11	自分だけのハンコをつくる～てん刻～	12	・印材に印刷し、持ち手を立体的に彫刻する。 ・鑑賞、アイデアスケッチ ・印刷(印面の下書き、印刷、押印) ・持ち手の彫刻(荒削り、細部の彫り、みがき) ・鑑賞	◆作品の意図や特徴、表現について理解できる。 ◆書体の歴史や篆刻の表現に関する理解を深めることができる。 ◆印稿の制作方法や篆刻刀の使い方など、篆刻ならではの技法を身に付け、仕上げるすることができる。	◆字体の違いについて理解し、表現に生かすことができる。 ◆デザインを簡潔にしたり総合化したりするなどして構成を考え、表現の構想を練ることができる。 ◆自他の作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆自分の作りたい対象を立体に表す創造活動の喜びを味わうことができる。 ◆自他の作品に興味をもち主体的に取り組むことができている。						
2学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						
1	鑑賞「絵の世界をみつめよう」	1	・近現代の美術作品から、そこにこめられた意味や思いを感じとる	◆作品の意図や特徴、表現について理解することができる。	◆作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。 ◆作品をよく見て感じ取ったことを話し合い、自分なりの言葉で表現することができる。	◆作品に興味をもち主体的に取り組むことができる。						
1 2 3	イメージ画	6	・自分なりに発想したイメージを描く。 ・アイデアスケッチ、鉛筆で下書き、ペンで仕上げる。	◆イメージを表した作品の表現について理解を深めることができる。 ◆立体的な形や平面的な形を組み合わせ、効果的な画面をつくることができる。	◆発想したことを基に簡潔にしたり、総合化したりするなどして構成して、表現の構想を練ることができる。 ◆自他の作品のよさや工夫、表現意図を味わうことができる。	◆自分の描きたいものを平面に表す創造活動の喜びを味わうことができる。 ◆自他の作品に興味をもち主体的に取り組むことができている。						
3学期 評価方法・評価場面 A 80%以上 B 50%以上				・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・定期考査	・授業観察 ・作品 ・ワークシート ・ふりかえり						